

令和4年度事業計画

我が国の65歳以上の高齢者人口は3,640万人（令和3年9月15日現在の推定値）、前年3,618万人に比べ22万人増加、総人口に占める割合は29.1%と前年28.8%に比べ0.3ポイント上昇、過去最高となっています。

高齢者人口の割合の推移をみると、1950年（4.9%）以降一貫して上昇が続いており、1985年に10%、2005年に20%を超え、2021年は29.1%となりました。

男女別にみると、男性は1,583万人（男性人口の26.0%）、女性は2,057万人（女性人口の32.0%）と、女性が男性より474万人多くなっています。

甲賀市においても65歳以上の高齢者人口が令和4年2月末で25,512人、総人口に占める割合は28.6%となり、前年同期と比べると292人の増加で過去最高を更新しています。

このような中、一昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大や新たなオミクロン株の出現、ウクライナ情勢も加わり、雇用をはじめ、経済の見通しは非常に不透明となっております。

経済情勢を見てみますと今年2月の月例報告において、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中、一部に弱さがみられるとの判断がされました。

また、雇用情勢を見ると持ち直しの動きが広がりつつあるものの、求職の超過が続いており、注意を要する状態にあり、今年1月の県内の有効求人倍率は0.98倍と依然厳しい状況が続いています。

一方、70歳までの就業確保措置の法制化が進み、雇用延長の傾向がみられることで、シルバーへの新規入会者の年齢上昇がいずれ顕著になると思われます。これは登録会員の高齢化の要因となってきています。

さて、この状況下において、甲賀市シルバー人材センターは人生100年時代を見据え、この新しい時代のシニア生活にフィットした就業機会の創出や生きがい、居場所づくりに積極的に取り組み、「働く」「学ぶ」「楽しむ」「参画する」といった多方面にわたる活動を展開しているところです。シルバー事業に参加することにより追加的収入も得られ、また、健康保持効果を高め、介護予防の推進や医療費など社会保障費の削減効果が期待できる側面もあります。経済面、健康面等々合わせ、さらにその重要性が見直されています。

このようなことから地域社会全体にシルバー事業の取り組みや理念を周知し、超高齢化社会の到来に備えた環境づくり、高年齢者が活躍できる社会づくりを積極的に推し進めなければなりません。

令和4年度の事業推進については引き続き新型コロナウイルス感染症の動向にも留意しながらSDGs（持続可能な開発目標）の普及啓発等その推進にも配慮しつつ、新しい生活様式に対応した多様な就業機会の開拓や事業の実施、講習会や講座の開催、同好会、ボランティア活動など積極的な事業展開を推し進め、地域社会で一層輝く存在となるよう努めます。

【事業実施計画】

1. 就業機会の確保・提供

- 1) 高齢会員でも活躍できる就業機会の確保、創出に努める。
- 2) 女性会員の多様な就業ニーズに対応した就業先開拓を推進する。
- 3) デジタル技術を活用できる就業機会の開拓を推進する。
- 4) 登録会員のデータベース（資格・技能・経験等）を活用した仕事の確保に努める。
- 5) 人手不足分野や現役世代を支える分野を対象に派遣就業の積極的な拡大を図る。
- 6) 市や関係団体等連携を図り、福祉・家事援助サービスや空家・空地の対策に積極的に取り組むことにより就業機会の確保に努める。

○目標契約金額 3億7,100万円（派遣業務含む）

2. 会員の拡大

- 1) ハロワークでのシニアセミナーの活用や相談業務を通じて新規会員の獲得に努める。
- 2) 各種女性向け講座、講習会と連携しながら積極的な入会推進を図る。
- 3) 80歳を超えても活躍できる就業機会の創出に努め、退会抑制を図る。
- 4) シルバーフレンドリーショップ制度（会員優待割引）の協力店拡大により入会推進、退会抑制を図る。
- 5) 会員一人に一人を目標に「会員紹介カード」を活用して入会推進に取り組む。
- 6) 広報紙「シルバーこうか」や「シルバーだより」、ホームページ、SNS（パソコンや携帯電話等情報交換ができる方法）を利用し活動状況や就業情報等を公開するなど、周知に力を入れ入会推進に努める。
- 7) WEB入会システムの活用により、新たな会員層の入会を目指す。

○目標会員数 1,236人

3. 安全適正就業の推進

- 1) 会員が安心して就労できるよう新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するとともに様々な情報提供など各会員の健康確保に努める。
- 2) シルバーだより、こうか安全ニュース、センター掲示板を最大限活用して会員個々の安全意識向上に努める。
- 3) 安全チェックシート、就業前ミーティングの徹底及び就業パトロール強化による事故の未然防止に努め、発生事故については安全・適正就業委員会を中心に事故現場の検証を実施して再発防止策を検討、その結果を広く会員に周知する。
- 4) シルバー人材センターの適正就業ガイドラインに基づき、適正なシルバー事業の推進を図る。
- 5) 安全講習、研修への積極的な参加により役職員をはじめ、各地域班長や会員のリスクマネジメント向上に努める。

4. 普及啓発の推進

- 1) 年2回発行の広報紙「シルバーこうか」や毎月発行の「シルバーだより」の内容をより充実させ、イメージの転換、向上を図る。
- 2) 各施設をお借りして開催するシルバーカルチャー講座の作品展やマルシェの開催を通じて積極的に普及啓発に努める。
- 3) 広報「シルバーこうか」やホームページ、フェイスブックを活用してセンターの活動状況等の積極的な情報発信に努める。

5. 組織の充実強化

- 1) 「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、会員による事業参画を積極的に推進するとともに理事会、各部会、委員会、地域班等の活性化を図り、組織の充実強化に努める。
- 2) 女性会員ならでのネットワークを通じた活動により、部会等シルバー組織の活性化、さらには女性会員の拡大を図る。
- 3) 県連合会や他の拠点シルバー人材センターとの連携や情報収集を緊密に行い、事業実施方法の見直し等の効率化に努める。
- 4) 地域班、職群班、就業グループ班と連携を図り、見積や現場管理など班長等会員主体で実施、より働きがいのある組織運営を図る。
- 5) 令和5年10月に導入される消費税における「適格請求書保存方式(インボイス制度)」はセンター運営に及ぼす影響が極めて大きいことから、適切に対応し、最適な事業運営を行う。

6. 技能講習会等の実施

発注者からの多様なニーズに対応するため各部会や支部で開催される講習会、研修会等を活用し人材の育成及び技能の習得に努める。

特に高齢者のデジタル社会への対応が急務の課題となっていることから、会員や地域高齢者に対するスマホ等の講習、相談会等の実施によりデジタルリテラシーの向上に努める。

7. 福祉・家事援助（介護支援）サービス事業

高齢者・障がい者が住み慣れた地域や住まい（家）で安心して日常生活が送れるよう市が実施する「高齢者障がい者安心生活支援事業」と連携を図り、家事ができない方や介護保険では適用されない短時間の軽易な作業（電球交換、ゴミ出し、買物、清掃、外出時の付き添い、公共料金の支払いなど）の就業支援を積極的に行う。

8. 独自事業等への支援

会員の持つ豊富な知識・経験・技能・特技を活かした自主的な活動が展開できるよう独自で提案された事業や会員が講師となり開催するカルチャー講座の支援を積極的に行う。

また、昨年スタートしたシニアマイスター制度を積極的に周知、優れた技能、知識、経験等を有する会員で、それらの継承する活動を希望する会員を甲賀市シニアマイスターと認定し市民の学習活動等における講師や指導者として活躍いただくことにより就業機会の拡大、生きがいに繋がるよう支援する。

9. 労働者派遣事業及び職業紹介事業の実施

高齢者の多様な就業ニーズに応じていくため、基幹業務である請負就業に加えて、シルバー派遣や職業紹介による働き方を積極的に展開する。それぞれの就業においては「臨時的かつ短期的な就業」又は「その他の軽易な業務に係る就業」を基本としつつ、「高齢者の雇用の安定等に関する法律」第39条に基づく特例措置を活用した業務拡大を推進する。

10. 地域社会貢献の実施

6月に甲賀市で全国植樹祭が開催されることから会員のボランティア活動の参加支援を通じて地域貢献を実施する。

また、全国シルバー人材センター普及啓発月間中の10月9日（日）～15日（土）の「滋賀県シルバー環境美化週間」において、組織を挙げて市内一斉清掃ボランティア活動を実施する。